

つなぐ・ひろがる しずおかの道

《 東海道新時代の幕開け 》

新東名高速道路(御殿場 JCT～三ヶ日 JCT) 開通後 6 ヶ月間の交通状況および整備効果



新東名(静岡県)インパクト調整会議

国土交通省中部地方整備局

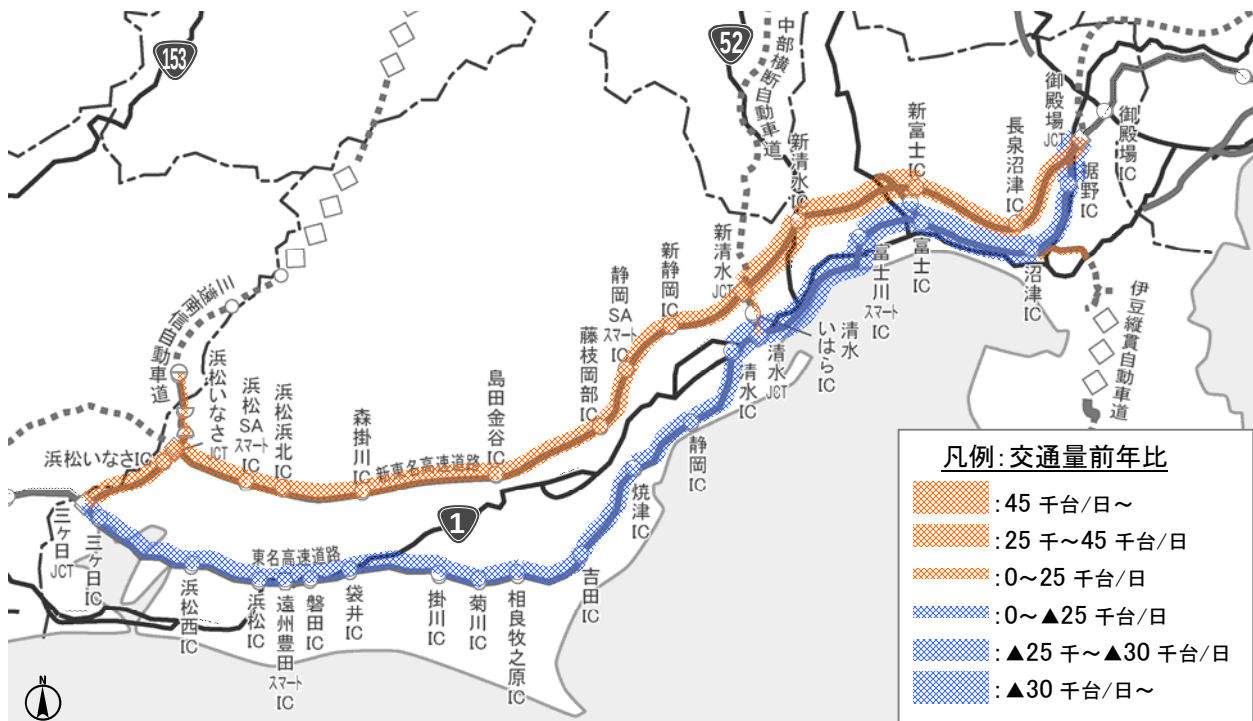
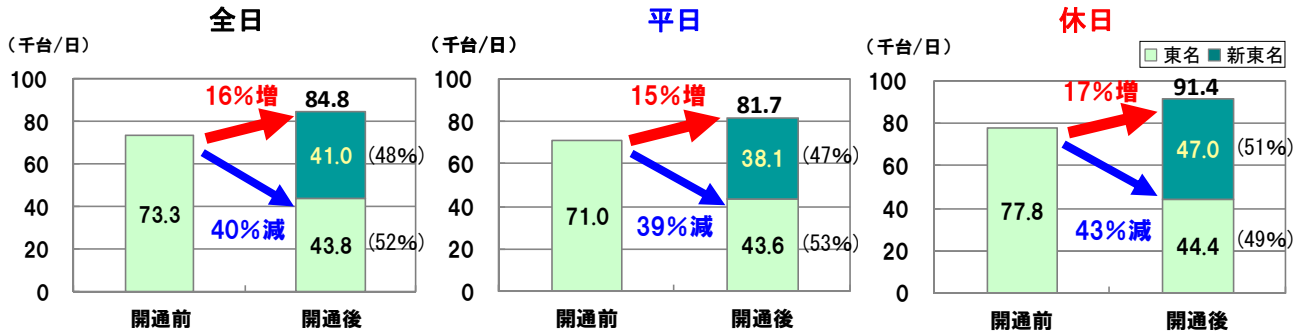
NEXCO中日本東京支社

静	岡	県
静	岡	市
浜	松	市

1. 新東名開通後6ヶ月間の平均交通量の変化

- ・ 新東名の平均交通量は、全日41千台/日、平日38千台/日、休日47千台/日
- ・ 静岡県内の新東名と東名の交通量合計は、全日16%、平日15%、休日17%とそれぞれ増加

■平均交通量



出典：NEXCO 中日本、国土交通省 交通量計測データ
 (御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計)
 開通前：平成23年4月17日(日)～10月16日(日)
 開通後：平成24年4月15日(日)～10月14日(日)

TOPICS 新東名と東名の区間交通量 TOP3

新東名と東名の区間交通量に関するTOP3を紹介します。

◆新東名“区間交通量”TOP3

順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	新清水IC～新清水JCT	46.4
2位	新富士IC～新清水IC	45.9
3位	長泉沼津IC～新富士IC	44.8

◆東名“区間交通量”減少量TOP3

順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	清水JCT～清水IC	▲36.2 (71.3→35.1)
2位	沼津IC～富士IC	▲33.0 (74.1→41.1)
3位	富士川SA～清水JCT	▲32.3 (71.3→39.0)

出典：NEXCO 中日本 交通量計測データ
 開通前：平成23年4月17日(日)～10月16日(日)
 開通後：平成24年4月15日(日)～10月14日(日)

2. 静岡県内の主要断面における断面交通量（新東名・東名・国道）の変化

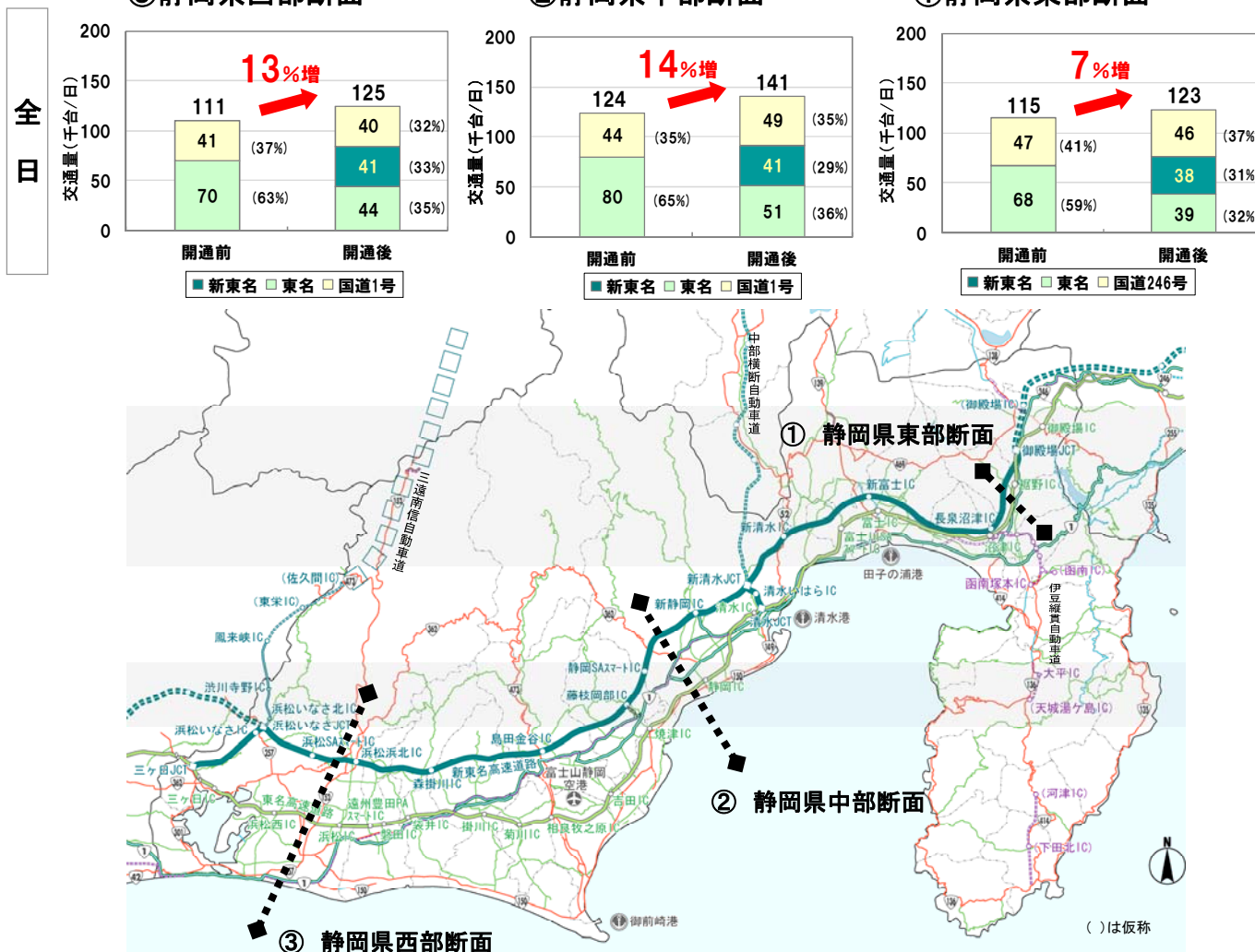
- ・ 静岡県内の主要断面における新東名、東名、国道の断面交通量は、全日最大14%、平日最大14%、休日最大15%とそれぞれ増加
- ・ 並行する国道は、全体的に大きな変化無し（新東名の開通に合わせ4車線化した国道1号静岡中部断面が増加傾向）

■主要断面の交通量の変化

③ 静岡県西部断面

② 静岡県中部断面

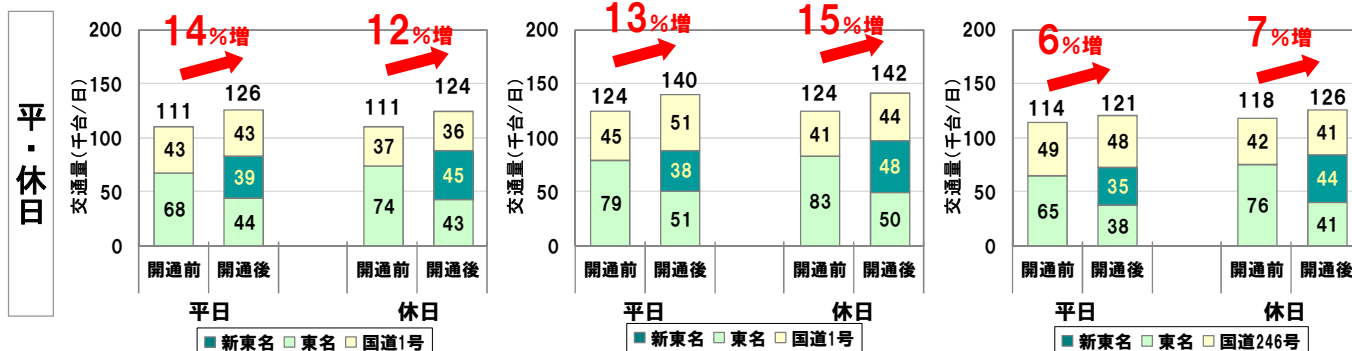
① 静岡県東部断面



③ 静岡県西部断面

② 静岡県中部断面

① 静岡県東部断面



出典：NEXCO 中日本、国土交通省 交通量計測データ

平日開通前：平成23年4月17日(日)～10月16日(日)の平日

平日開通後：平成24年4月15日(日)～10月14日(日)の平日

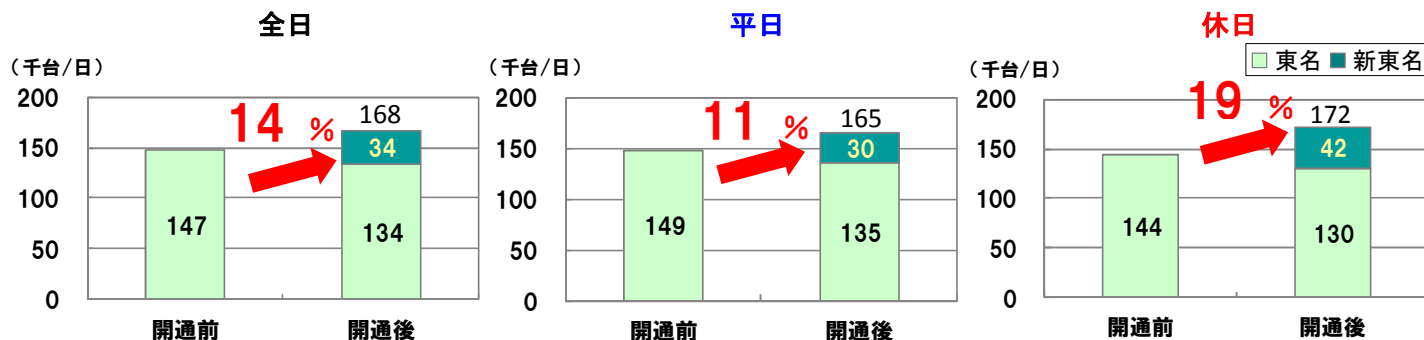
休日開通前：平成23年4月17日(日)～10月16日(日)の休日(土曜・日曜・祝日)

休日開通後：平成24年4月15日(日)～10月14日(日)の休日(土曜・日曜・祝日)

3. 新東名開通後6ヶ月間の平均 I C (インターチェンジ) 利用交通量の変化

- ・ 新東名の平均 I C (インターチェンジ) 利用交通量は、全日 34 千台/日、平日 30 千台/日、休日 42 千台/日
- ・ 静岡県内の新東名と東名の平均 I C 利用交通量は、全日 14 %、平日 11 %、休日 19 %とそれぞれ増加（行動圏の拡大や来県者の増加）

■ 平均 I C 利用交通量

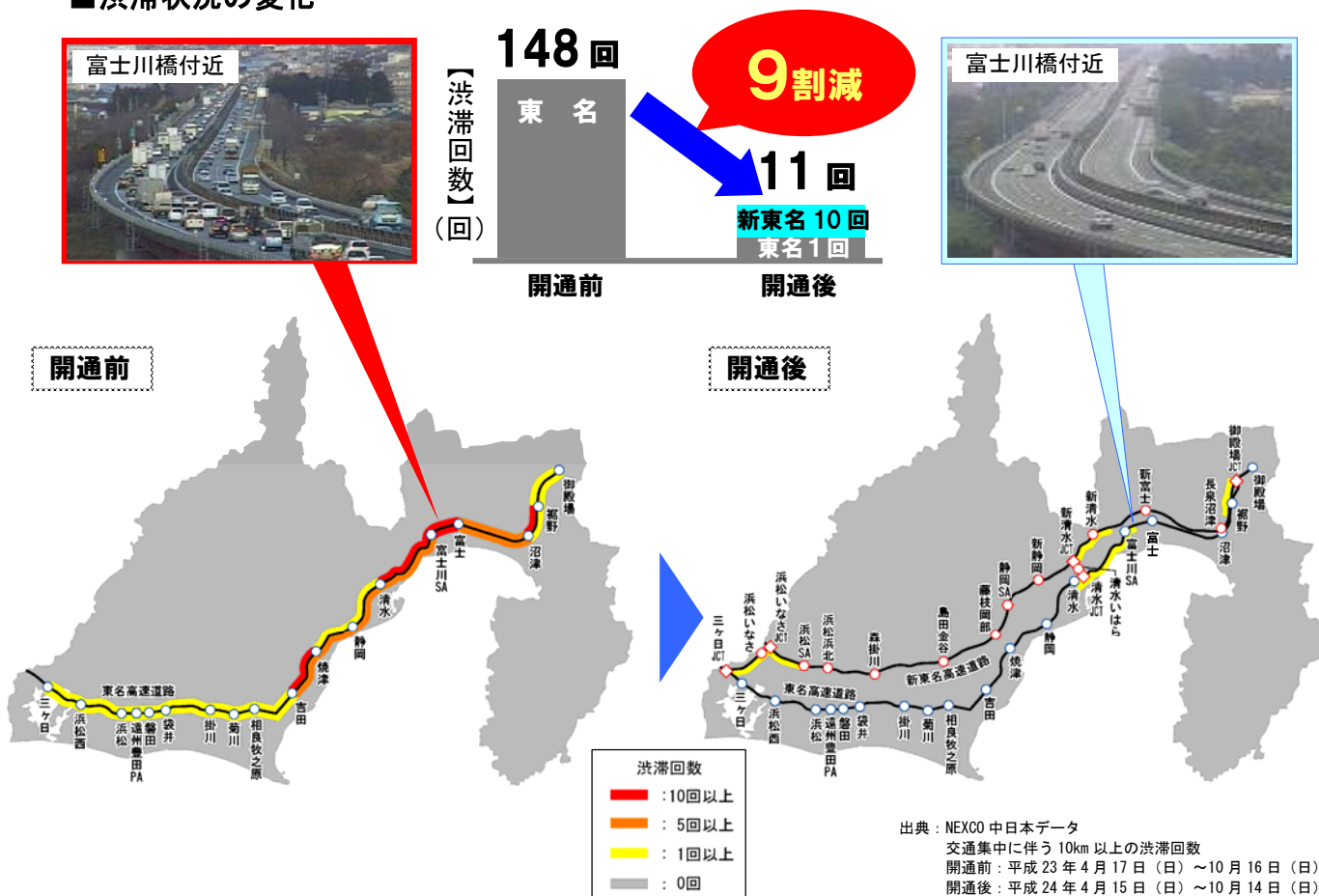


出典：NEXCO 中日本 交通量計測データ
 (料金所を通過した台数の日あたり平均値 (1回の利用につき1台カウント))
 開通前：平成23年4月17日(日)～10月16日(日)
 開通後：平成24年4月15日(日)～10月14日(日)

4. 新東名開通後6ヶ月間の渋滞状況の変化

- ・ 開通後6ヶ月間に静岡県内で発生した10km以上の渋滞は11回
- ・ 昨年同時期に東名の静岡県内で発生していた渋滞回数と比較すると、約9割減少

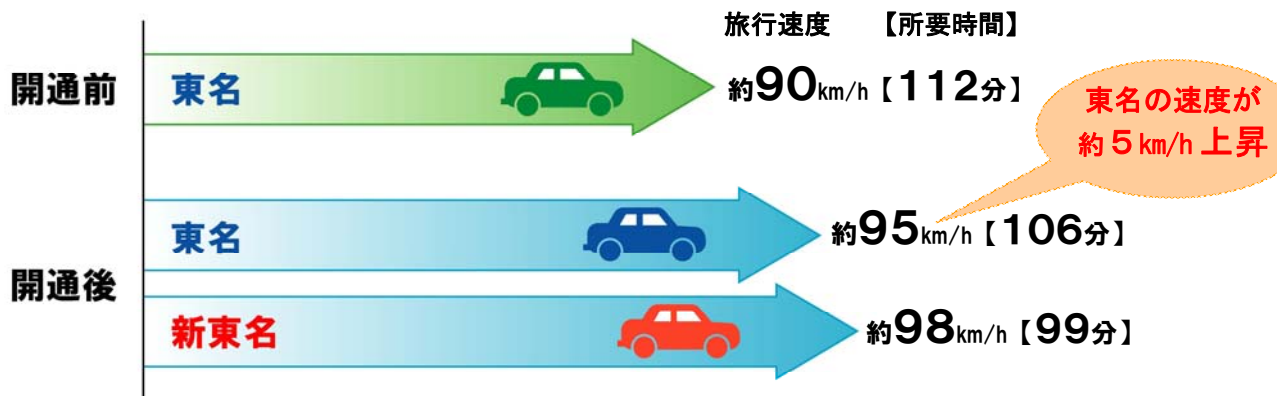
■ 渋滞状況の変化



5. 新東名・東名の旅行速度と交通事故の変化

- ・ 東名の平均旅行速度は、新東名開通後、約 95km/h（5 km/h 上昇）、新東名は 98km/h
- ・ 新東名と東名における人身事故件数は、昨年同時期の東名の件数より約 3 割減少

■旅行速度【所要時間】の変化



出典：民間プローブデータを用いた集計結果

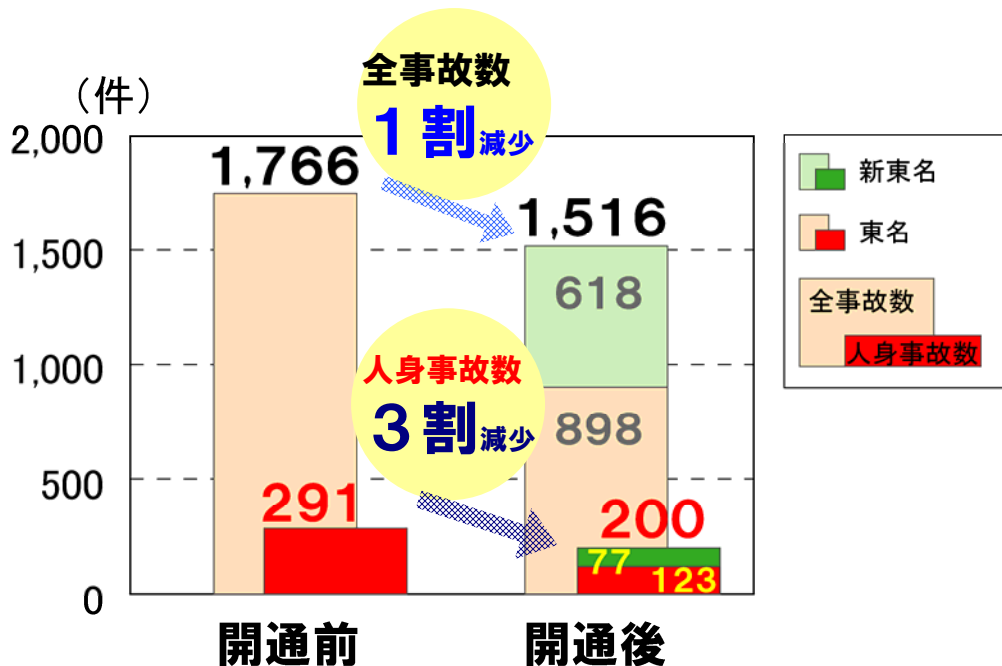
開通前：平成23年4月17日（日）～8月31日（水）

開通後：平成24年4月15日（日）～8月31日（金）

旅行速度は、御殿場 JCT～三ヶ日 JCT 間*の各区間の旅行速度の平均値※東名の 80km/h 規制区間及び連絡路は対象としない。

所要時間は、新東名・東名とも御殿場 JCT～三ヶ日 JCT 間の時間

■交通事故の変化



出典：静岡県警記者発表

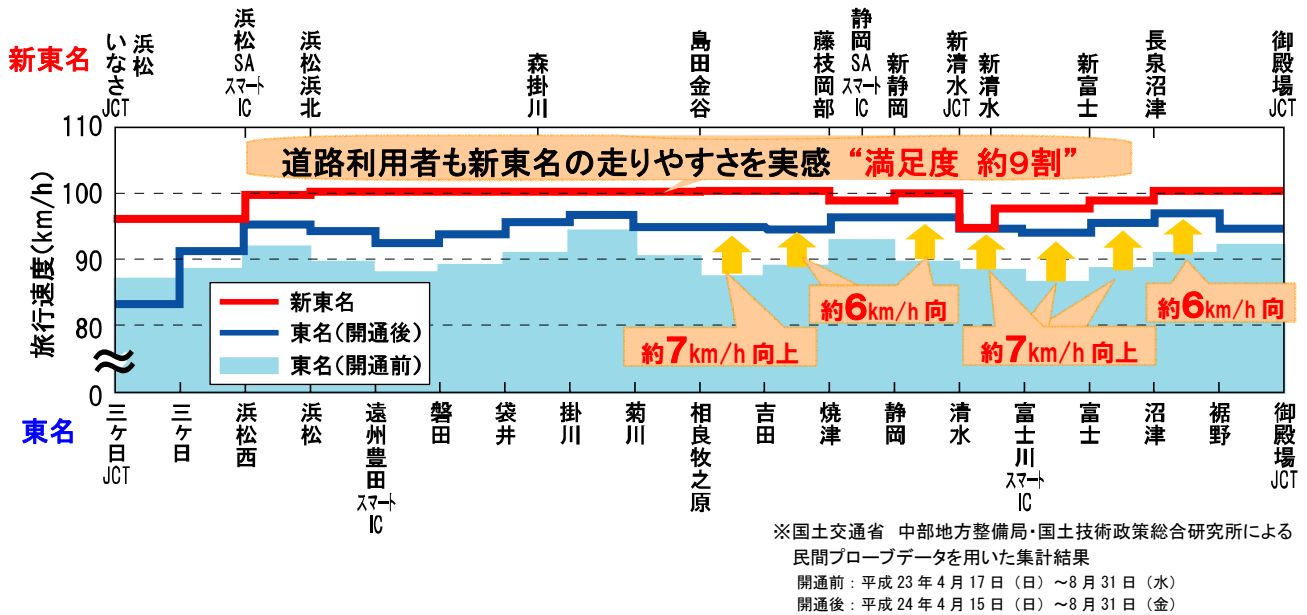
開通前：平成23年4月14日（木）～10月13日（木）

開通後：平成24年4月14日（土）～10月13日（土）

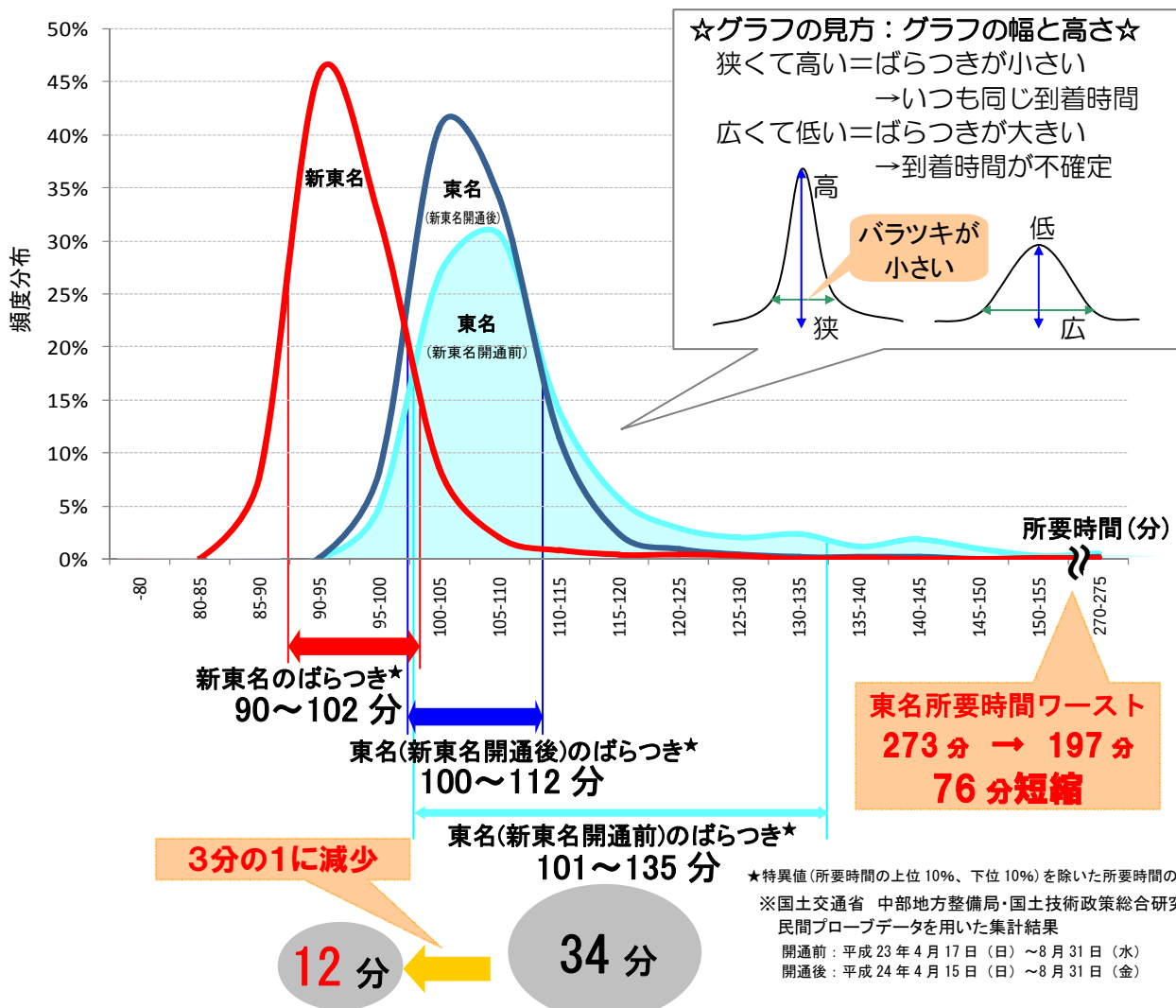
6. 新東名・東名の所要時間に関する定時性

- ・ 新東名は東名より速く、全区間一定速度（100km/h程度）で走行でき、走りやすい道路
- ・ 東名の所要時間のばらつき減少（34分→12分）、定時性が大幅に向上

■ I C間の旅行速度



■ 御殿場JCT～三ヶ日JCT間の所要時間の分布

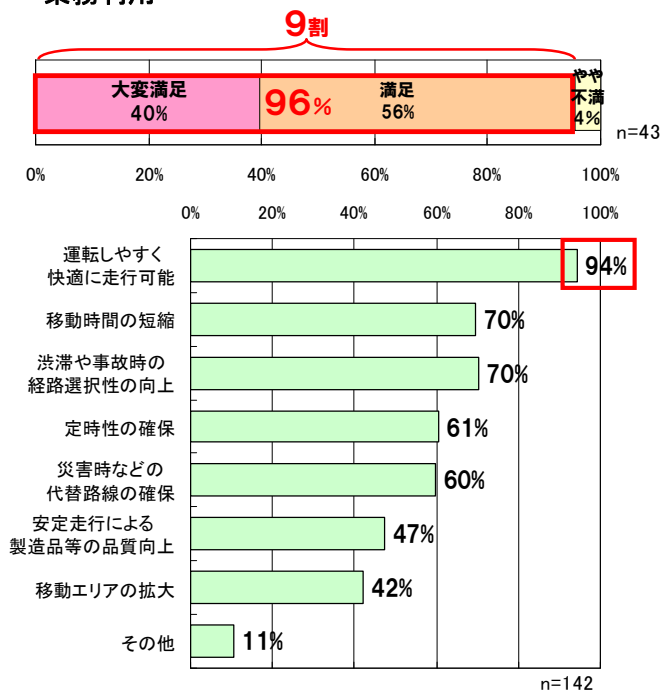


7. 新東名・東名の道路利用者の満足度

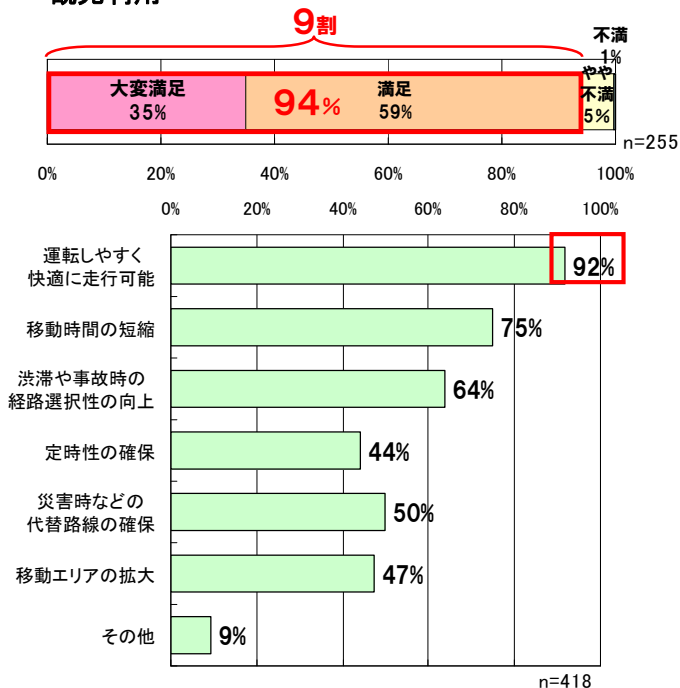
- ・ 新東名・東名の利用者は、業務利用、観光利用とも約9割が満足傾向
- ・ 新東名は、「運転しやすく快適に走行可能」が約9割と走りやすさを実感
- ・ 東名では、「交通渋滞が減った」が約8～9割と定時性の向上を実感

■「新東名」利用の満足度と効果の実感

業務利用

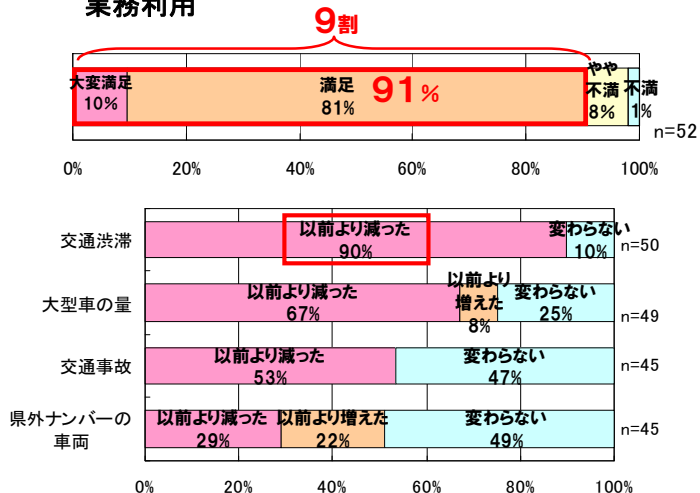


観光利用

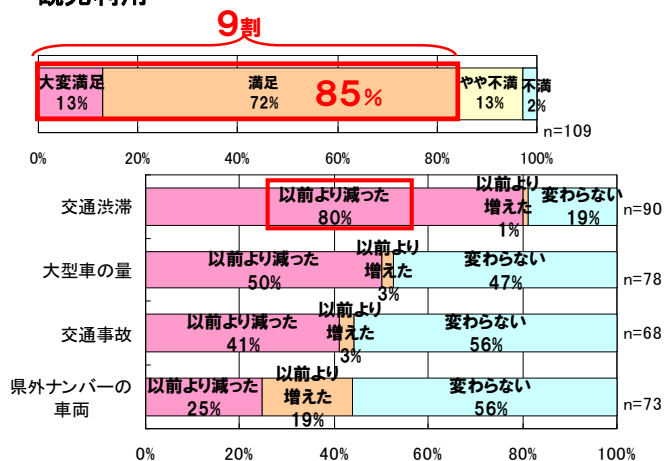


■「東名」利用の満足度と交通状況の実感

業務利用



観光利用

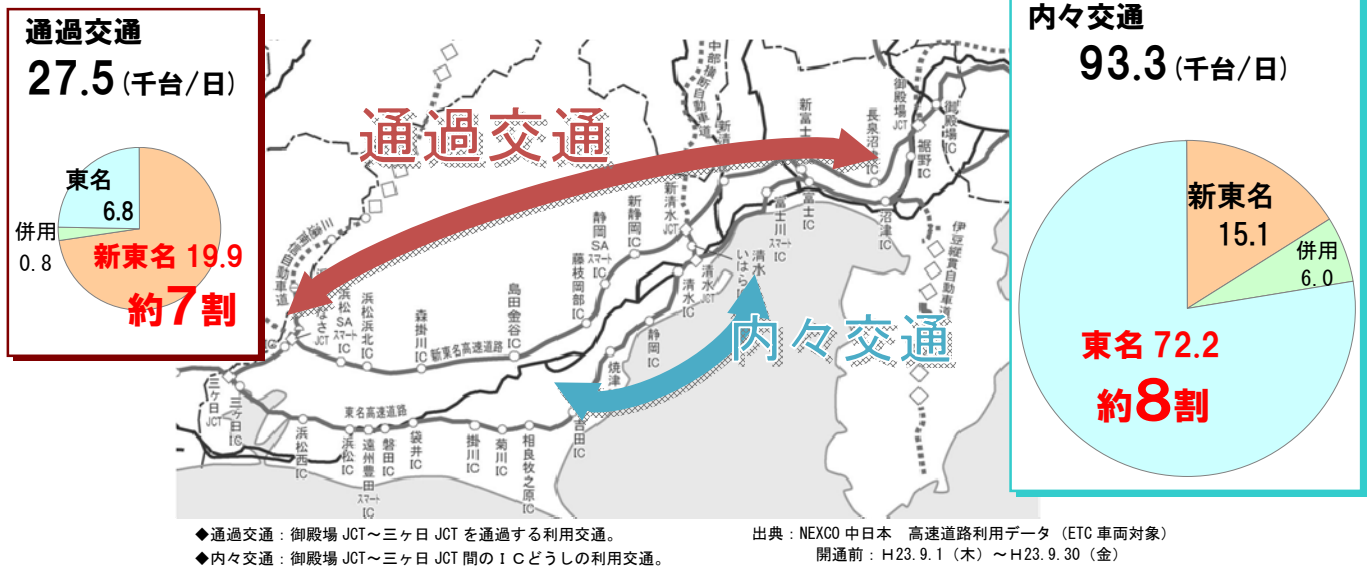


出典：国土交通省 道路利用者アンケート調査 平成24年9月23日(日) 27日(木)、新東名：駿河湾沼津SA、静岡SA、浜松SA、東名：富士川SA、日本坂PAの各上下線、焼津さかなセンター、はままつフルーツパーク、富士山せせらぎ広場、道の駅富士、道の駅宇津ノ谷峠、道の駅玉露の里、道の駅川根温泉にて利用者に配布。配布数 4,835 通のうち回収は 942 通 (回収率 19.5%)

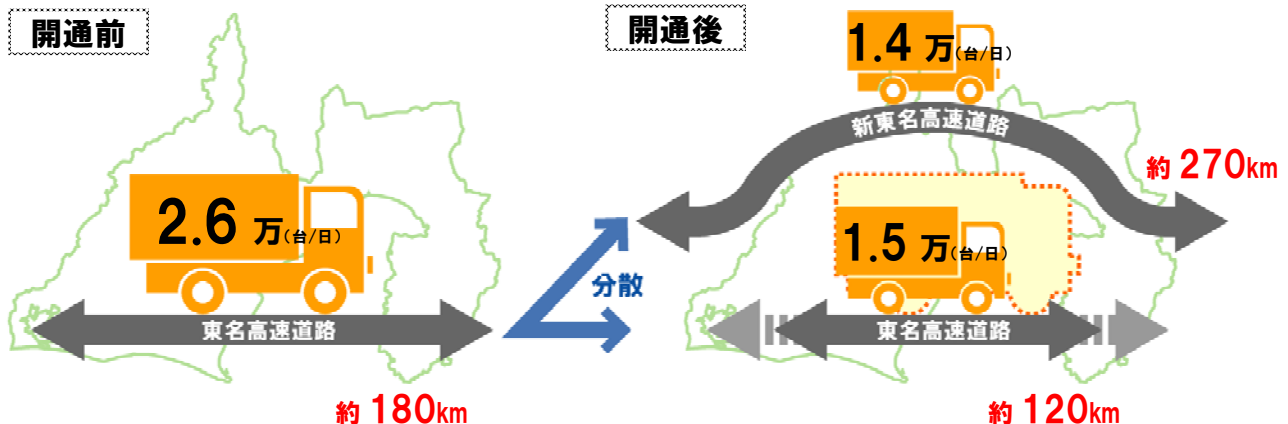
8. 新東名開通による静岡県内の高速道路の交通動向の変化

- ・ 通過交通の約 7 割が新東名、内々交通の約 8 割が東名利用、役割分担が明確に
- ・ 東名の移動距離の長い通過交通が新東名に転換（平均移動距離 180 → 270 km）
- ・ 新東名利用は、東名に比べ燃費が向上（年間約 38 万円の節約）

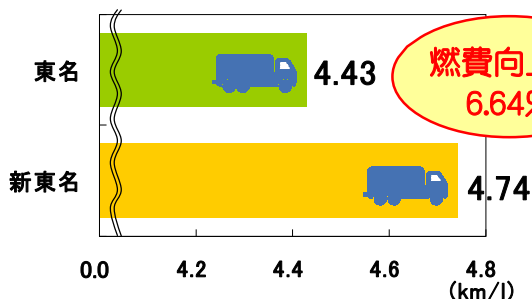
■新東名と東名の役割分担の明確化



■大型車平均交通量と平均移動距離の変化



■新東名は、東名に比べ約 7 % 燃費が向上、年間で約 38 万円の節約



出典：(社)全国物流ネットワーク協会が調査を実施
・調査期間：平成 24 年 3 月及び 4 月
・調査方法：数社のサンプリング調査
・対象車両：東京 I C～名古屋 I C 間の直行便トラック

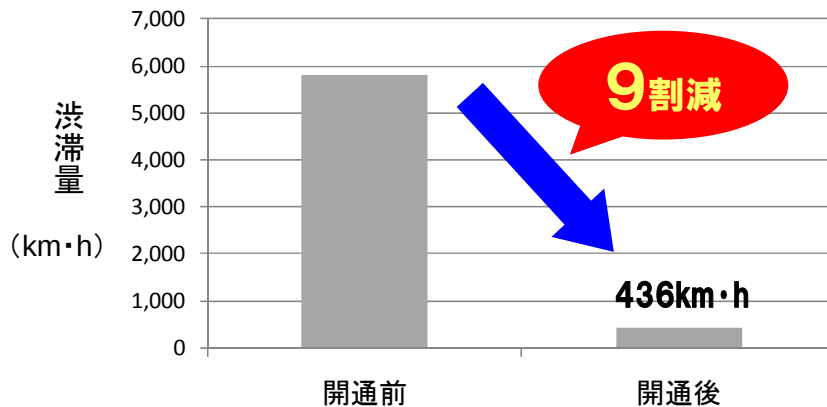
年間利用の場合
約 38 万円の節約
1 往復で軽油約 13.90 節約

出典：新東名(静岡県)インパクト調整会議による試算
・利用条件：1 ヶ月 20 日で 12 か月稼働
・延長：東名 325.5km、新東名 315.4km

9. 東名集中工事期間中の渋滞状況、所要時間の変化

- ・ 東名集中工事期間中の御殿場 JCT～三ヶ日 JCT間の渋滞量は、約 9 割減少
- ・ 期間中の東名 御殿場 JCT～三ヶ日 JCTの通常時に比べた遅れ時間は約 7 割減
- ・ 新東名は遅れ無し（通常時と同じ所要時間）

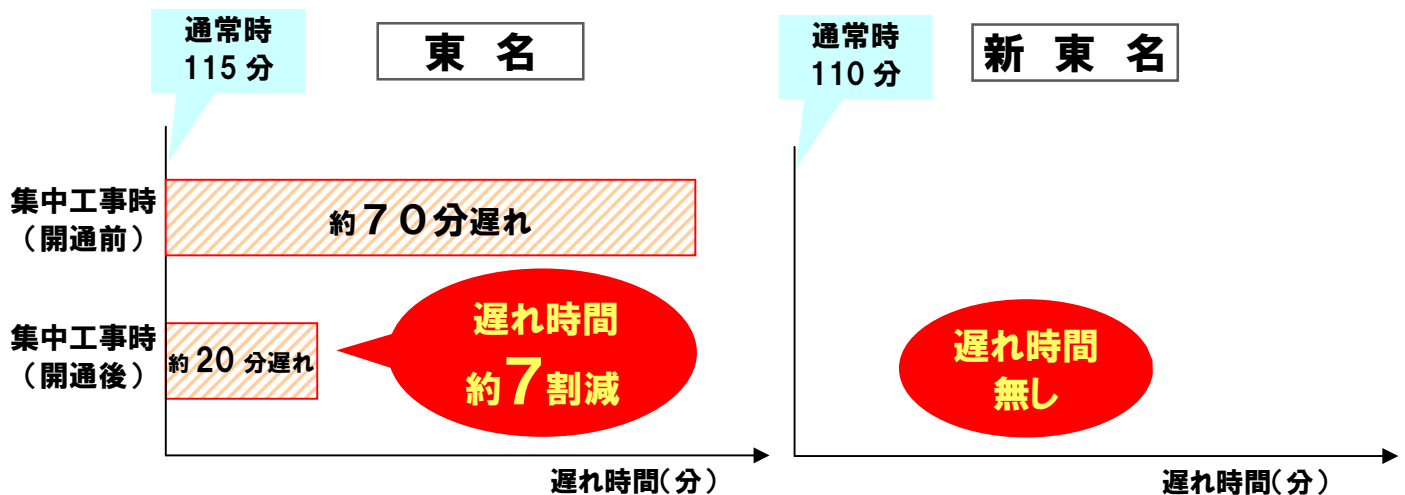
■御殿場 JCT～三ヶ日 JCTの渋滞状況の変化



出典：NEXCO 中日本 交通量計測データ
 開通前：平成 23 年 10 月 11 日（火）～10 月 21 日（金）の平日
 開通後：平成 24 年 10 月 9 日（火）～10 月 19 日（金）の平日

工事に伴う渋滞量※
 ※渋滞量：渋滞規模を表す指標（渋滞長×渋滞時間）

■御殿場 JCT～三ヶ日 JCTの平均所要時間の変化



出典：NEXCO 中日本 交通量計測データ
 通常時：平成 24 年 9 月 25 日（火）～ 9 月 28 日（金）の平日※
 開通前：平成 23 年 10 月 11 日（火）～10 月 21 日（金）の平日
 開通後：平成 24 年 10 月 9 日（火）～10 月 19 日（金）の平日

※通常時の平均所要時間は IC 間を 80km/h で走行した場合の所要時間としている。

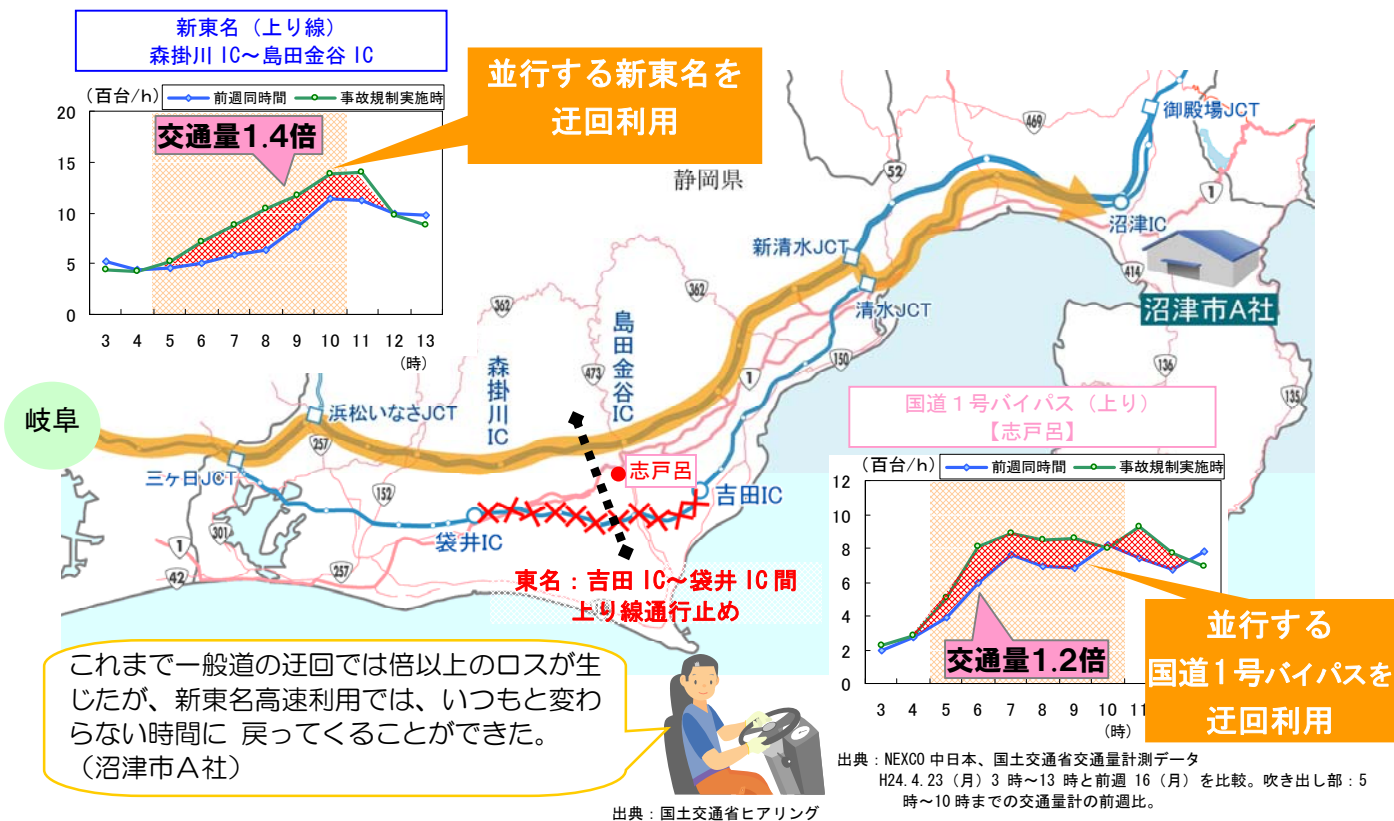
参考 東名集中工事（昼夜連続車線規制）の概要

- 開通後（平成 24 年度） 日 時：10 月 9 日（火）～10 月 19 日（金）の土日を除く 9 日間
実施区間：東京 IC～三ヶ日 IC
- 開通前（平成 23 年度） 日 時：10 月 11 日（火）～10 月 21 日（金）の土日を除く 9 日間
実施区間：東京 IC～豊田 IC

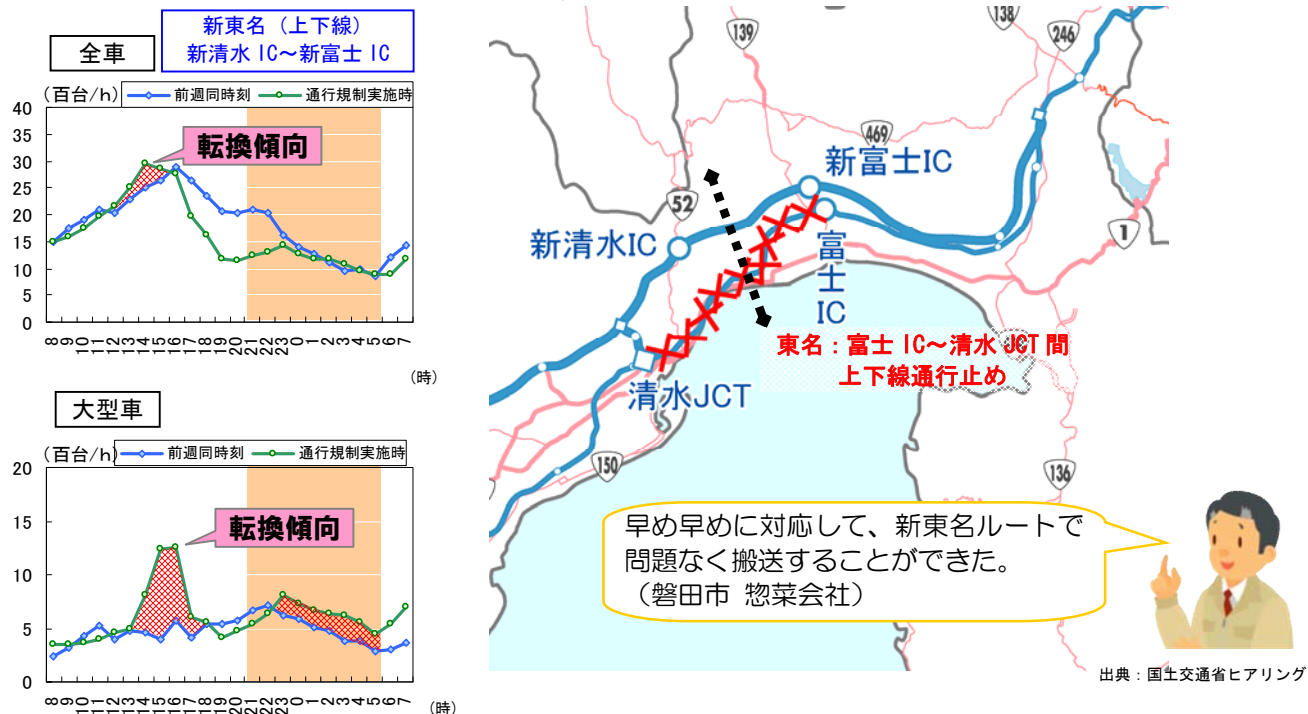
10. 東名通行止め時にダブルネットワーク機能が発現

- 東名の大型車の事故による通行止めでは、新東名の交通量が前週の1.4倍と、ダブルネットワーク効果が発現
- 台風17号による通行止めでは、予報により、早い時間からの新東名へ転換傾向、新東名を迂回利用した企業は、リダンダンシー効果を実感

■事故による東名通行止め時の交通量(上り)の変化(前週同時間比較)



■台風による東名通行止め時の交通量の変化(前週同時間比較)



出典: NEXCO中日本、国土交通省交通量データ前週9月23日～9月24日/通行規制実施時9月30日～10月1日

1 1. 休憩施設における防災救急機能の発揮（ヘリポートの活用）

- ・ 新東名の休憩施設には、防災救急機能の一つとしてヘリポートを設置
- ・ 遠州森町PAで発生した急病人に対して、ドクターヘリが出動し、医師による迅速な医療処置を実施

■ ドクターヘリの離着陸（事例）

休日午後、遠州森町PA内で急病人が発生。浜松消防がドクターヘリの出動を要請、PA内ヘリポートに着陸。急病人は、迅速かつ適切な医療処置を受けることができました。

- 迅速な処置**
- 1 午後 遠州森町PAで急病人発生
携帯電話で119番
 - 2 1分後 消防指令センターからの要請で浜松市消防局赤佐出張所から消防隊が出発
現地状況連絡からドクターヘリを要請（4分後）
 - 3 8分後 聖隷三方原病院のドクターヘリ出動（医師・ナースが搭乗）
 - 4 10分後 ドクターヘリ遠州森町PA上空到着
浜松市消防局と調整しヘリポートに着陸、急病人のもとへ
 - 5 19分後 ドクターヘリが消防隊と合流
処置開始
 - 6 28分後 医療処置終了
その後、ドクターヘリで聖隷三方原病院へ搬送



当日状況写真：聖隷三方原病院提供



写真：浜松市消防局提供

- ・ 医療上、より早い医師による処置（ファーストタッチ）が重要であり、実現しやすい環境となった。
- ・ 新東名は山間部を通過し、近隣に医療施設がないため、ヘリでの搬送は有効である。
（聖隷三方原病院（医局））



- ・ これまでも、本線上などへの着陸はあったが、手続きなどに時間がかかった。しかし休憩施設にヘリポートがあることで、迅速に着陸できた。
（聖隷三方原病院（ヘリ担当））

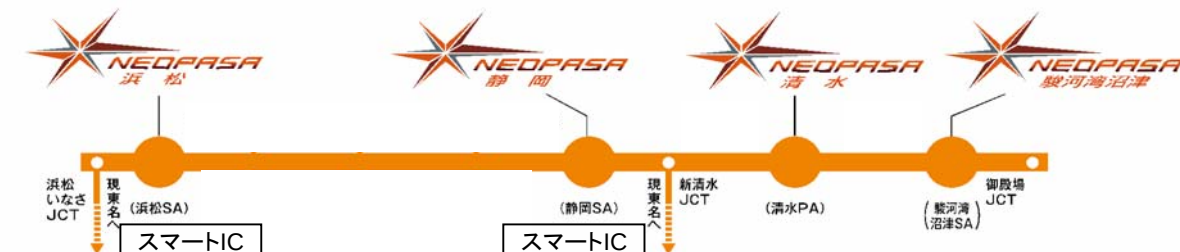


出典：国土交通省ヒアリング

12. 新東名の商業施設(ネオパーサ)とスマートICの利用状況

- ・ 商業施設であるネオパーサ（7箇所）の6ヶ月間の来場者数は、約2,400万人
- ・ 静岡SAスマートICは休日2.2千台/日、浜松SAスマートICは休日2.9千台/日が利用
- ・ 周辺住民からスマートICや商業施設の利用による利便性向上の声

■高速道路商業施設の利用状況



NEOPASA 浜松

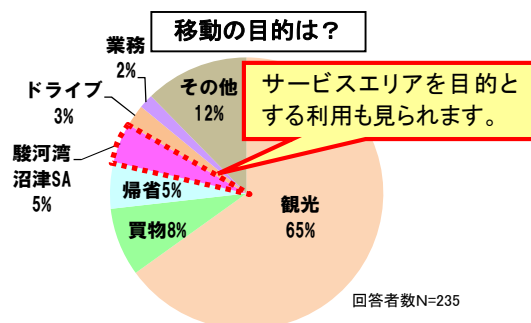


NEOPASA 静岡

平成24年9月撮影

出典：NEXCO 中日本 各 NEOPASA 出入口での観測結果
平成24年4月14日(土)～10月14日(日)

〈駿河湾沼津SA利用者アンケート結果〉



出典：国土交通省 駿河湾沼津SA（上り）利用者アンケート
(平成24年9月15日(土))



サービスエリアの快適さがホッと安心につながっているように感じます。家族で旅行して帰りに寄ると一息つけて「さあ！もう一頑張り」と安全運転につながるようにも思えて助かります。

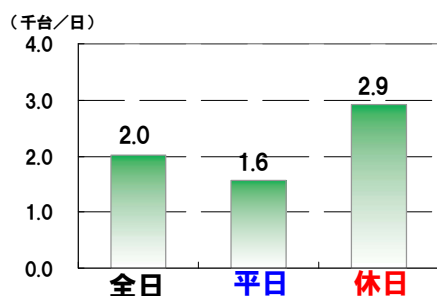
サービスエリアを目的にドライブで来ました。ここだけの限定グッズなども売っていてとても楽しかった。



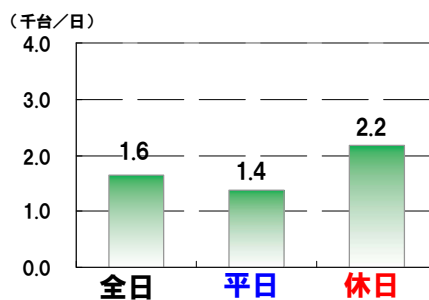
出典：NEXCO 中日本お客さまの声

■スマートICの利用状況

浜松SAスマートIC出入交通量



静岡SAスマートIC出入交通量



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
平成24年4月15日(日)～10月14日(日)

浜松SA付近の住民の声

- ・ 高速道路まで30分程度かかっていましたが、新東名のスマートICが出来たことで、10分程度で利用できるようになり大変便利になった。また、高速道路の利用頻度も以前より増えた。



静岡SA付近の住民の声

- ・ SA内のラーメン店が24時間営業ということもあり、利用している。
- ・ SA内にドッグランがあるので、散歩時に利用している。
- ・ 街が便利になっていることを実感している。SAがなければこんなに便利だとは体感できなかっただろう。

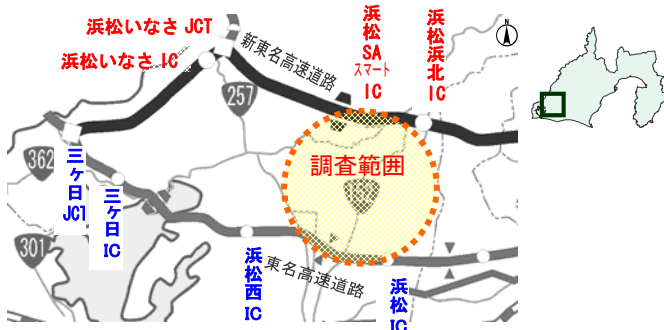


出典：浜松市・静岡市ヒアリング

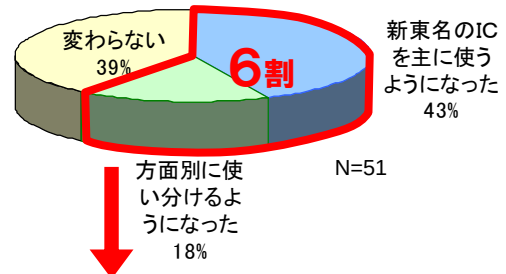
13. 新東名開通による企業活動の変化

- ・ 浜松市内の新東名沿線企業 「開通により企業活動に効果があった」と6割が回答
- ・ 「出発時間を遅くできるようになった」「目的地付近での待ち時間が減った」との意見

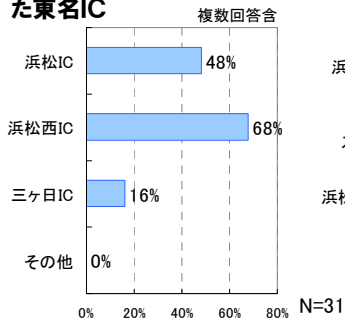
■ 浜松市内 沿線企業の活動変化



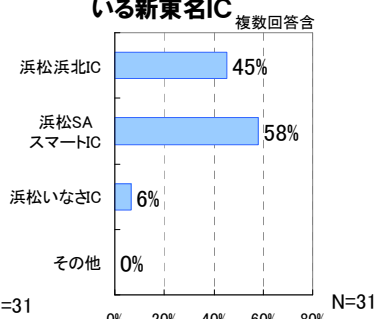
Q1: 新東名開通後、これまで主に利用していた高速のICが変わりましたか？



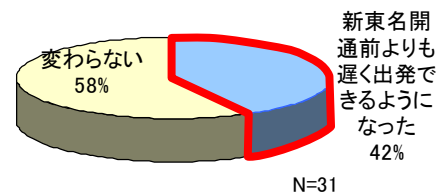
Q2: 開通前に主に利用していた東名IC



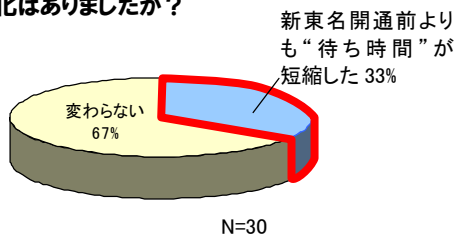
Q3: 開通後に主に利用している新東名IC



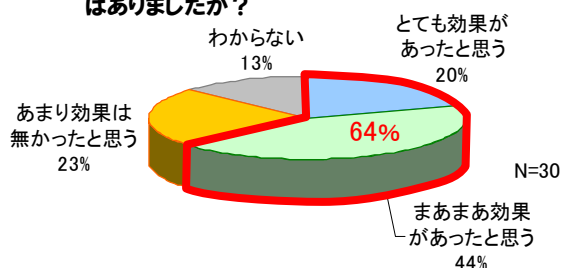
Q4: 高速道路を利用する際の出発時間に変化はありましたか？



Q5: 目的地(輸送先・営業先)付近での“待ち時間”に変化はありましたか？



Q6: 総じて、新東名の開通が御社への企業活動に効果はありましたか？



企業活動における主な効果(自由意見抜粋)

【利便性の向上(ICアクセス性の向上・時間短縮等)】

- ・ 疲れにくい。時間短縮できるようになった
- ・ 新東名浜松SAからスマートインターで乗り降りができるので、時間短縮につながっている
- ・ 到着時間が少し早くなり、心理的に余裕ができた
- ・ 選択が広がった

【新東名の走行性に対する声】

- ・ 道幅が広く、運転しやすい
- ・ 疲れにくい

【東名に対する声】

- ・ 東名の交通量が減って走りやすくなった

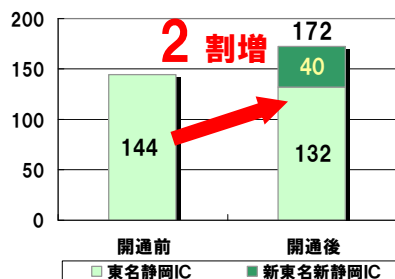
出典：国土交通省 浜松市内新東名沿線アンケート調査
浜松市浜松市内（北区・浜北区）の企業へ電話アンケート
平成24年7月上旬 回答53社

14. 高速道路へのアクセス性向上と市街地への交通分散効果

- ・ 新東名の開通に伴い、アクセス道路となる(主)山脇大谷線および静清バイパスの交通量がそれぞれ約1割増加
- ・ (主)山脇大谷線の整備によるアクセス性の向上、および静清バイパスの4車線化により静岡市街地への交通の分散

■国道1号BP4車線化と山脇大谷線による交通分散

IC利用交通量(全日)



出典: NEXCO 中日本 交通量計測データ
 開通前: 平成23年4月17日(日)~7月16日(土)
 開通後: 平成24年4月15日(日)~7月14日(土)

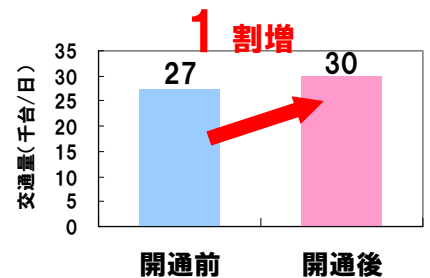
(主)山脇大谷線



至 新静岡IC

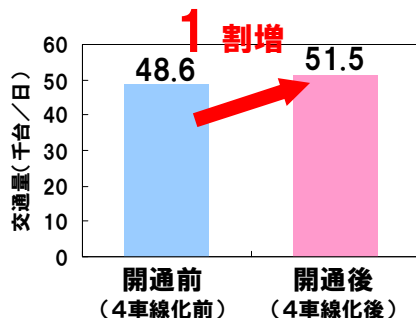
至 静岡市街地

(主)山脇大谷線交通量(平日)



出典: 静岡県 交通量計測データ
 開通前: 平成23年11月24日(木)
 開通後: 平成24年5月17日(木)

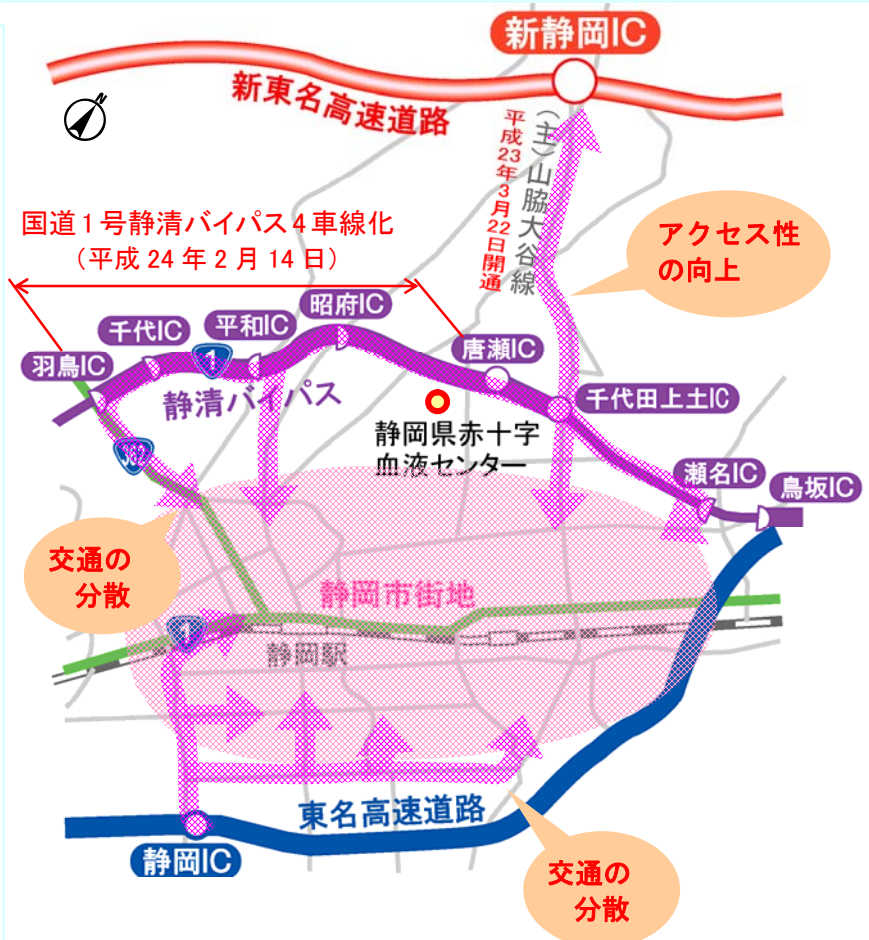
国道1号静清バイパス交通量(平日)



出典: 国土交通省 交通量計測データ
 開通前: 平成24年2月9日(木)
 開通後: 平成24年5月17日(木)



新東名開通後、
 交通量は増加したが、
 上下線とも渋滞解消



これまで東名静岡ICまで30分以上掛かったが
 新静岡ICへは10分程度でアクセスでき非常に
 助かっています。(静岡県赤十字血液センター)

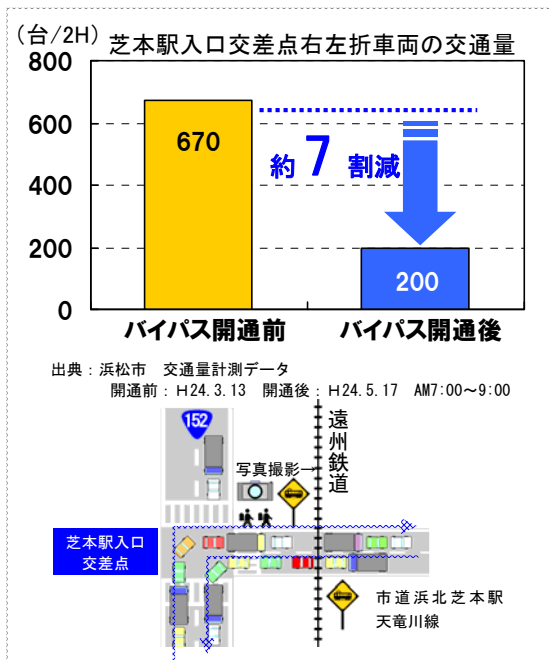


出典: 国土交通省ヒアリング

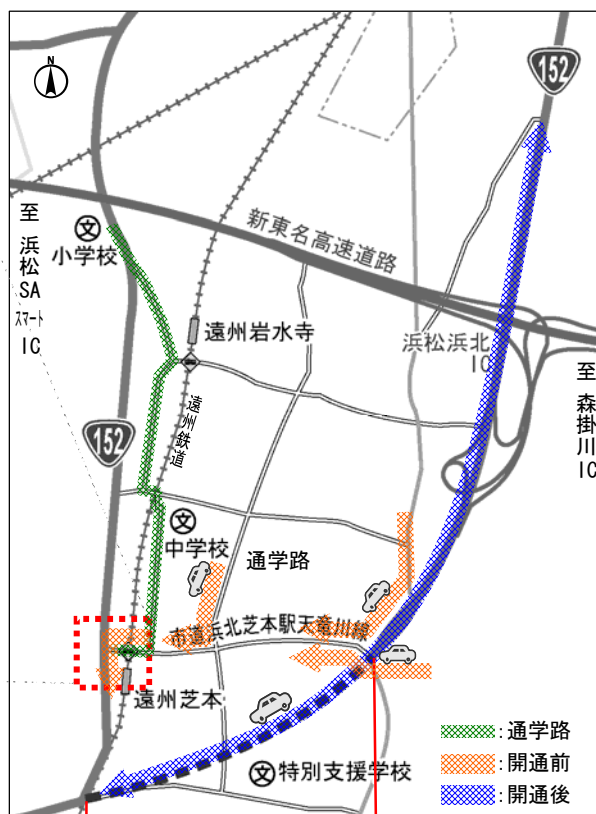
15. 新東名アクセス道路開通による生活道路の変化

- ・ 新東名へのアクセス道路である国道 152 号バイパスの開通により、浜松市内の生活道路を通過する交通が約 7 割減少
- ・ 地元の交通状況を良く知る方からは「通学路の安全性が向上した」との声

■新東名アクセスへの通過交通の転換



バイパス開通後、交通量が少なくなっ
て、子ども達も安全に通学できるよう
になったと思っています。
(市道浜北芝本天竜川線 交通誘導員)



国道 152 号バイパス開通
(平成 24 年 3 月 28 日)

生活道路(通学路)

開通前



平成 24 年 3 月早朝撮影

開通後

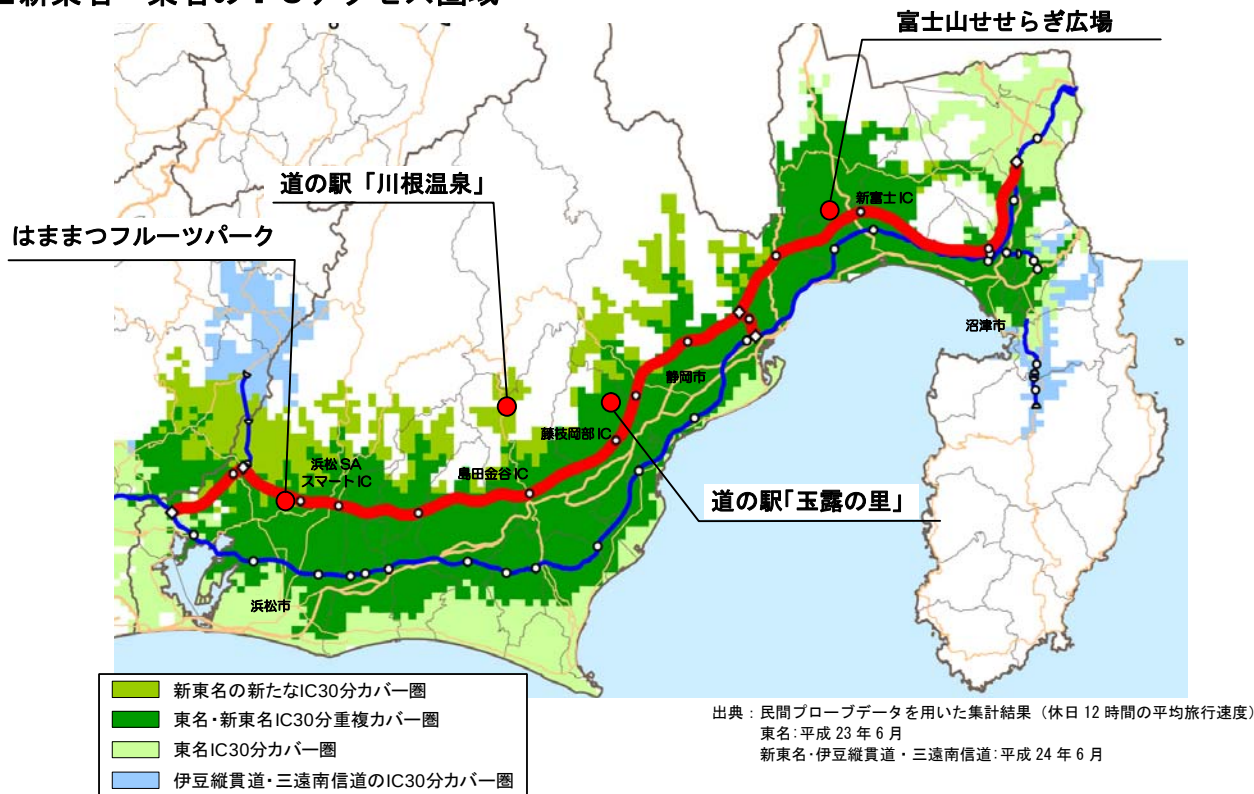


平成 24 年 7 月早朝撮影

16. ICアクセス圏域の拡大と沿線観光・休憩施設の集客の変化

- ・ 新たな高速IC30分圏域、また新東名、東名両方からの30分圏域が拡大
- ・ 新東名沿線の観光・休憩施設管理者は、新東名開通後に県外からの利用者の増加を実感

■新東名・東名のICアクセス圏域



はままつフルーツパーク



浜松SAスマートICからフルーツパークまでの行き方に関する問い合わせが増えました。



富士山せせらぎ広場



新東名が開通し、県外からの来客が多くなったが、もっと増やしたい。



道の駅「川根温泉」



川根の良さを県外の方に知ってもらい宿泊客も増やしたい。



道の駅「玉露の里」



新東名が開通し、県外からの来場が増加したと感じている。

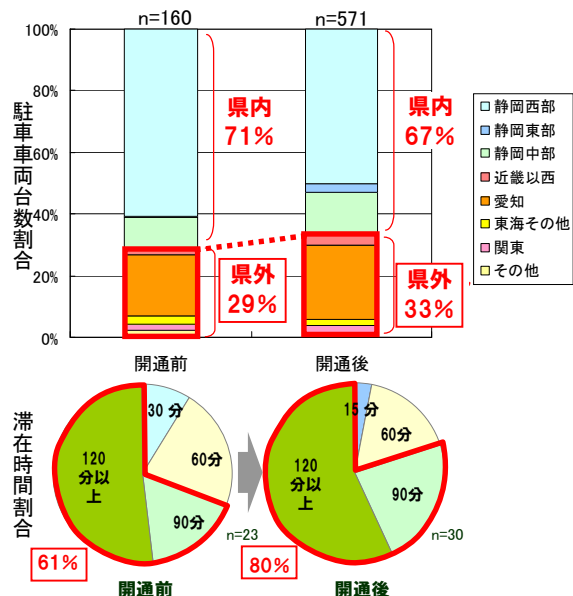


出典：国土交通省ヒアリング

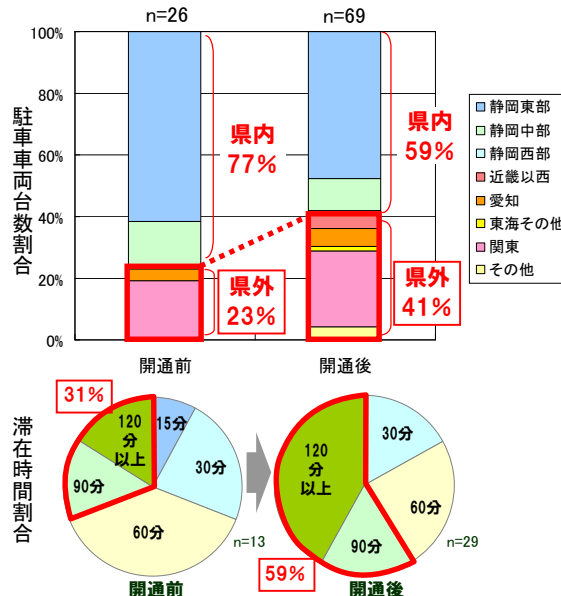
- ・ 新東名沿線の観光・休憩施設の駐車場利用は県外車両が増加
- ・ 各施設の利用者アンケート結果では、昨年に比べ滞在が長時間化の傾向

■新東名沿線の観光・休憩施設の駐車車両と滞在時間の変化

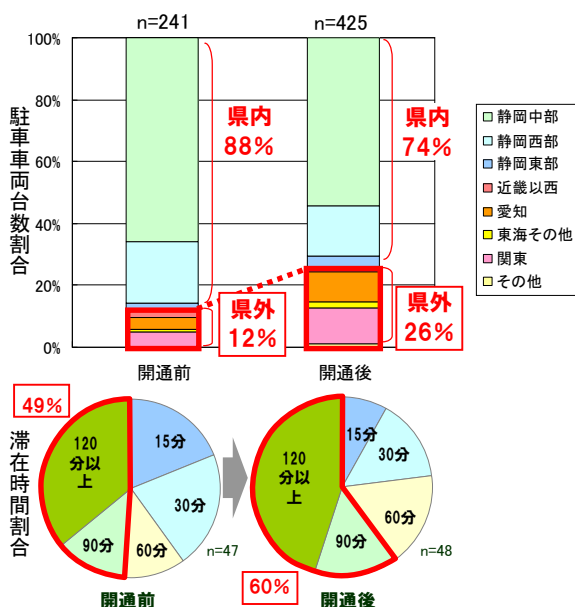
はままつフルーツパーク



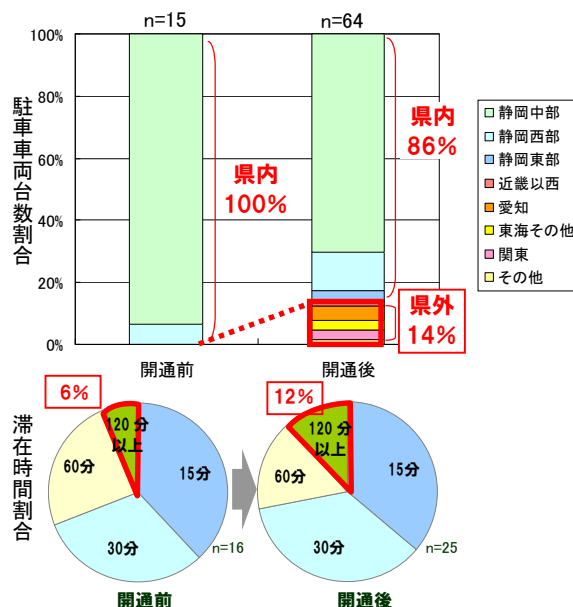
富士山せせらぎ広場



道の駅「川根温泉」



道の駅「玉露の里」



出典：国土交通省 中部地方整備局・浜松市 車籍地・利用者アンケート調査結果

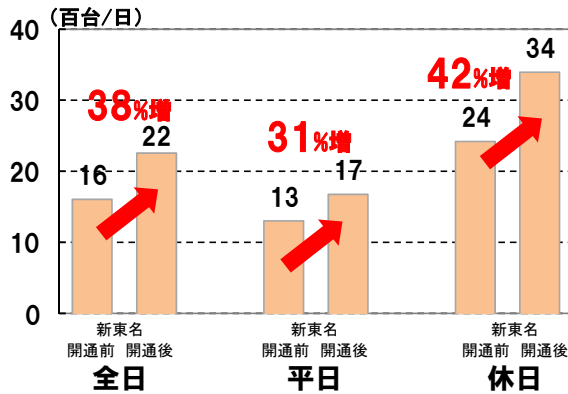
開通前：平成23年11月20日（日）アンケート配布・車籍地調査（14時台）

開通後：平成24年9月23日（日）アンケート配布、10月7日（日）アンケート配布・車籍地調査（14時台）

17. 新東名とネットワークを形成する三遠南信自動車道の変化

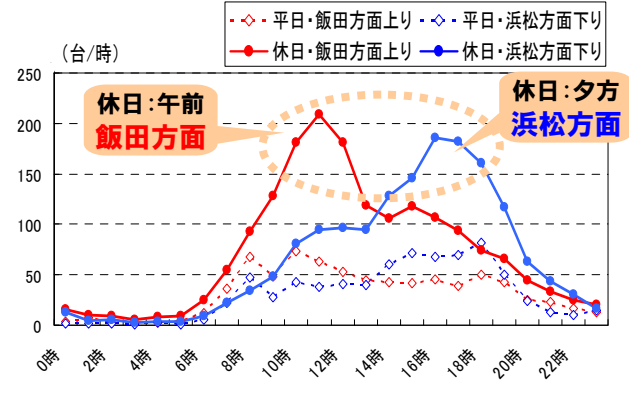
- 新東名・三遠南信自動車道の開通により日帰り観光圏が拡大、鳳来峡ICからの90分圏交流人口は、愛知県内人口の約9割、静岡県内人口の約7割
- 道の駅「^{しんしゅうにいのせんごくだいら}信州新野千石平」では、休日の買い物客数が約5割増加、「県外からの来客が増えた」との施設管理者の声

■三遠南信自動車道の交通量



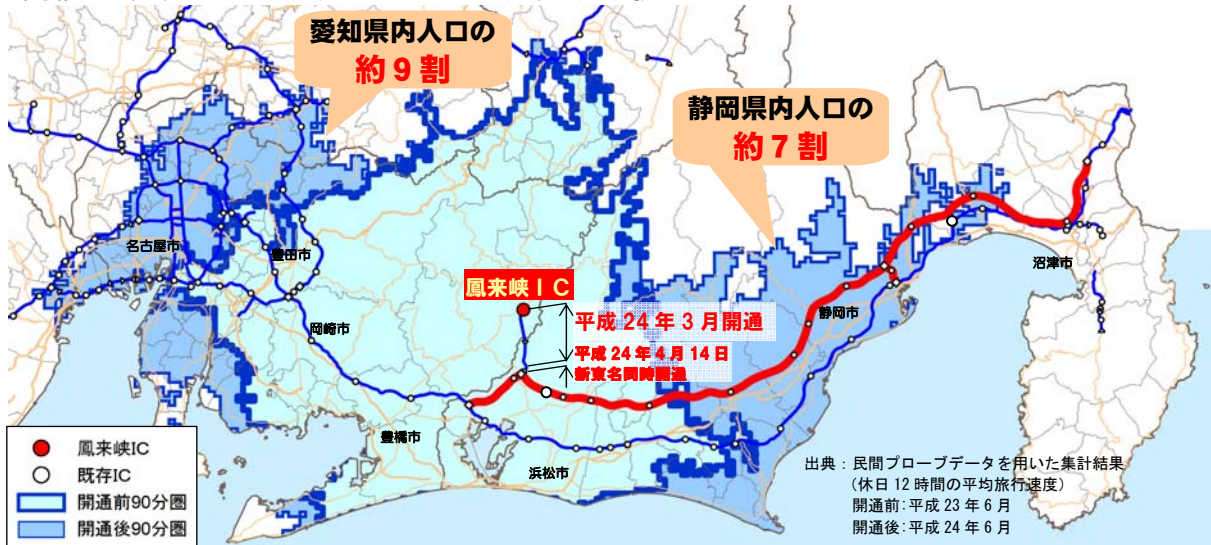
出典：国土交通省データ
開通前：平成24年3月5日（月）～4月13日（金）
開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）

■三遠南信自動車道 平・休別、時間帯別交通量

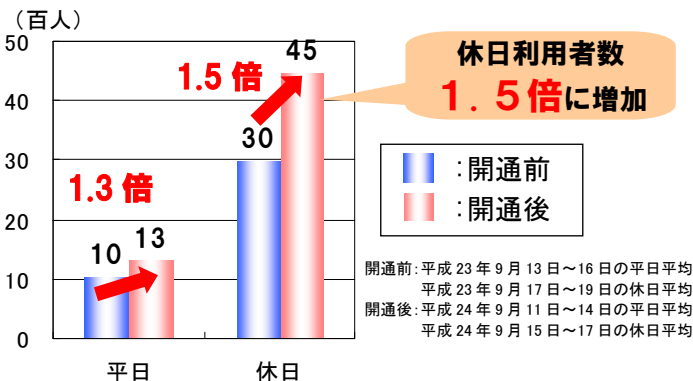


出典：国土交通省交通量計測データ
平日：平成24年9月11日（火）～9月14日（金）
休日：平成24年9月15日（土）～9月17日（月・祝）

■三遠南信自動車道の鳳来峡ICの90分圏域の拡大



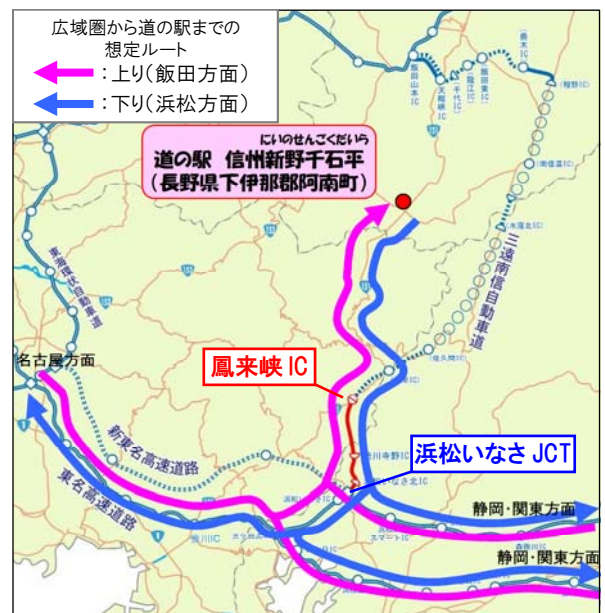
■道の駅「^{しんしゅうにいのせんごくだいら}信州新野千石平」買い物客数の変化



新東名開通後は、静岡県方面や関東方面、愛知県方面と広域から利用者が増えました。（道の駅運営者）



出典 国土交通省ヒアリング



18. 新東名とネットワークを形成する伊豆縦貫自動車道の変化

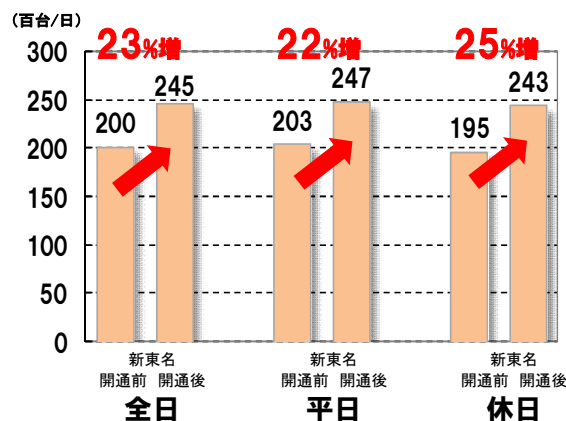
- 平成25年度に三島塚原IC～函南塚本IC間が開通(延伸)すると、IC30分圏域は約2倍に拡大、伊豆地域全体の約4割の地域がICから30分以内で到達
- 伊豆半島の玄関口にある主要な観光施設では、入り込み客が増加傾向

※ここでの伊豆地域は、沼津市、熱海市、三島市、長泉町、函南町以南の市町が対象

■伊豆縦貫自動車道によるIC30分圏域の変化

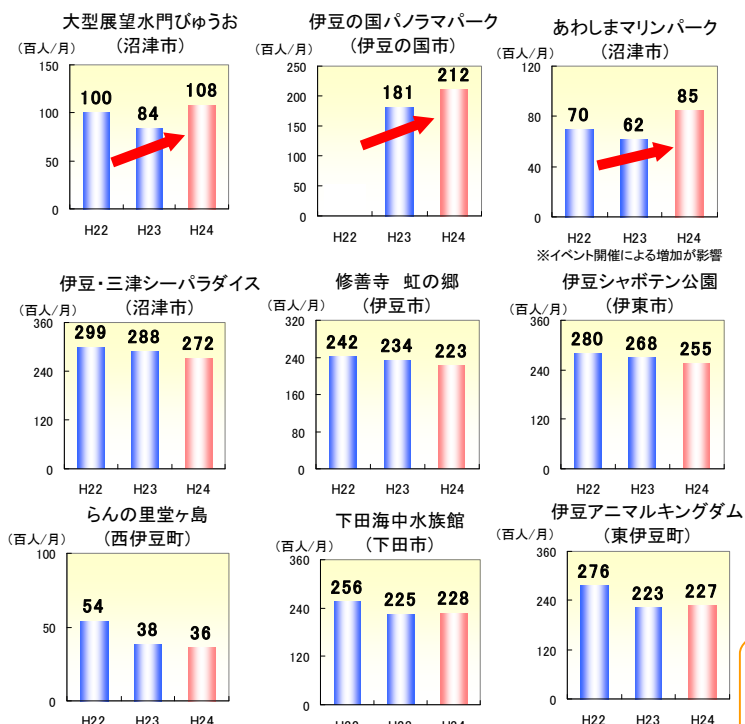


■伊豆縦貫自動車道の交通量



出典：国土交通省データ
開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）
開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）

■伊豆地域の主要観光施設の入り込み客数の変化



出典：観光施設アンケートによる入り込み客数（カウント方法は各観光施設による）
平成22年～平成24年の4月～9月（各年5ヶ月間）
伊豆の国パノラマパークは、H23からカウント開始



・平成25年度には伊豆縦貫自動車道が開通し、伊豆中央道との接続による時間短縮が見込めます。これによる新東名との相乗効果に期待しています。（下田海中水族館）

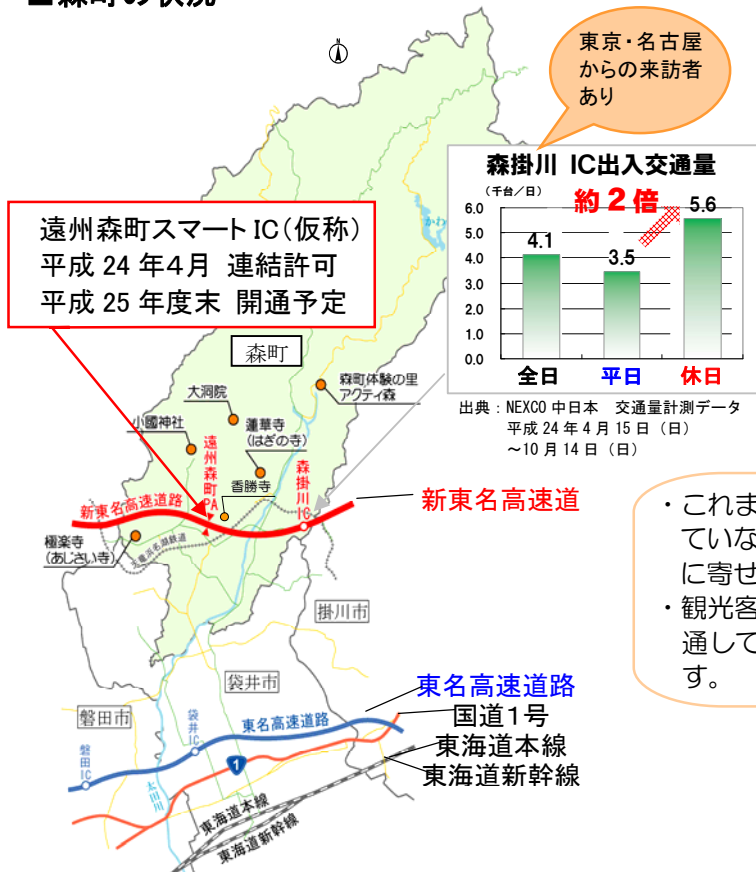


出典：国土交通省ヒアリング

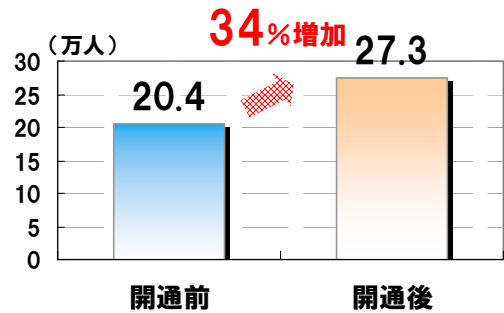
19. スマートICへの地元の期待

- ・ 高速道路、国道、ＪＲも通っていなかった町での新東名に寄せる期待は大
- ・ 観光客からは「早くスマートＩＣが開通してほしい」と言う声

■森町の状況



町内の観光施設の利用者数



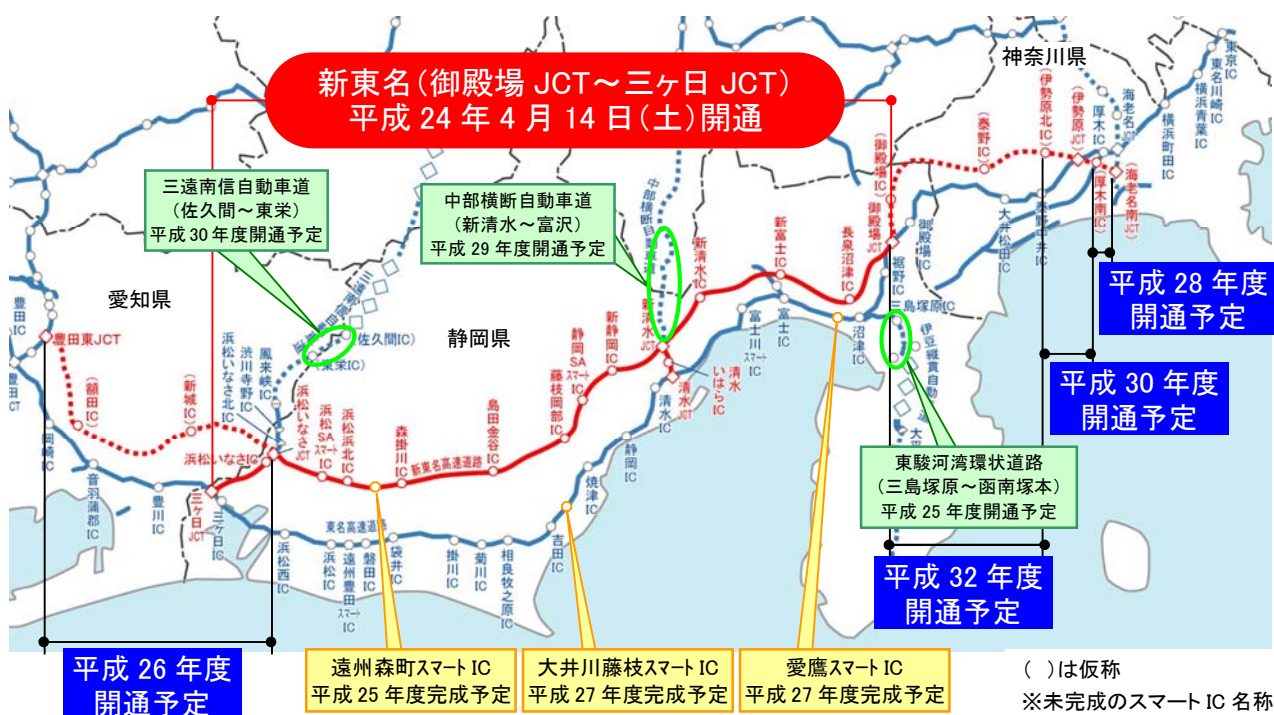
出典：森町ヒアリング査
 開通前：平成 23 年 4 月～9 月
 開通後：平成 24 年 4 月～9 月

- ・これまで高速道路・国道・ＪＲも通っていなかった町。新たにできた新東名に寄せる町内の期待は大きい。
- ・観光客からは「早くスマートＩＣが開通してほしい」という声を聞いています。



出典:森町 ヒアリング

20. 今後の開通予定



()は仮称
※未完成のスマート IC 名称は仮称

表紙写真上段：NEXCO 中日本富士保全サービスセンター撮影